



「ふれあいの里山」復活大作戦

日時	2018年6月2日(土) 9時00分～ 15時00分	
場所	金ヶ崎公園	
参加者	エコウイング会員／8名(うち午後のみ2名)、魚住まち協／2名、 その他／1名(午前のみ)、事務局／1名	計／12名

● 午前

今日の金ヶ崎公園は、一日中青空の広がる好天気でした。6月に入り、まもなく梅雨入りの季節ですが、その前の晴れ間に恵まれ、快適な活動ができました。朝9時に小・中学生の姉弟や一般参加の方1名を含めて、10名のメンバーが公園の会議室に集まりました。

ミーティングの後、公園内のコースを一巡りして昆虫を中心とした自然観察をしました。初夏の日差しの中で気温もだいぶ上がり、チョウやコウチュウなど、色々な昆虫を観察することができました。

● 午後

午後は、一部のメンバーが入れ替わりがあり、11名人で公園入口付近の里山で、近接する私有地から侵入してきた竹の除伐作業に取り組みました。少し狭い場所での活動だったため、近くのメンバーと声を掛け合せて、安全に注意しながら作業を進めました。

この日の最高気温は25℃近くになり、少し体を動かしただけでも汗ばむほどだったため、作業の合間にはスポーツ飲料で水分補給をして休憩を取りました。

今日も、ケガなどの事故もなく、定刻の午後3時に無事に活動を終了しました。

- 次回の活動は7月14日(土)の予定です。昆虫も、たくさん観察できる時期になっていると思います。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

自然観察(その1)



自然観察(その2)



自然観察(その3)



昼休みに談笑するメンバー



タケの除伐作業(その1)



タケの除伐作業(その2)



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

今日の自然観察で確認できた昆虫を紹介します。今日はチョウやカメムシ、コウチュウなどのなかまが色々と姿を見せました。特に、小型の珍しいチョウ「ウラミスジシジミ」が2014年6月以来4年ぶりに観察できました。

また、毛虫・芋虫と呼ばれるガなどの幼虫もいくつか観察しました。色々と調べてみましたが、種名はよく分かりませんでした。

ウラミスジシジミ



ミズイロオナガシジミ



ヒカゲチョウ



カノコガ



ガのなかま



オオホシカメムシ



セアカツノカメムシ



ガガンボのなかまのペア



アカシマサシガメ



オオヒラタシデムシ



ナナホシテントウ



キマワリ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

キマワリ



オオクロクシコメツキ



アトワアオゴミムシ



アオイトトンボのなかま(♀)



オオカマキリの幼虫



ヒメバチのなかま



マダラアシナガバエ



ガ又はハバチの幼虫



カシワマイマイ(ガ)の幼虫



野鳥では、夏鳥のキビタキが盛んにさえずっていましたが、残念ながら姿を確認することはできませんでした。写真に撮影できた野鳥は、メタセコイヤの木の梢でさえずるホオジロと、子育て中と思われる餌をくわえたスズメ、ふもとの北浦池にいたカイツブリだけでした。

ホオジロ



餌をくわえたスズメ



北浦池のカイツブリ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その3)

その他の生き物では、先月に続きトノサマガエルが姿を見せたほか、カナヘビを何匹も確認しました。また、公園内の水路にモクズガニがいるのが見つかりました。ふもとの池のポンプが故障して、長い間水路の水が流れていないのに、よく生き延びていたものと感心しました。

トノサマガエル



カナヘビ



モクズガニ



植物では、黄色いコナスビ、ピンクのムラサキカタバミ、空色のオオイヌノフグリなど、小さいながらカラフルな草花が咲いていました。また、グミの実が赤く熟れていて、観察会の途中で少し渋みがあるものの甘い実を味わいました。

この時期になると、公園内のあちこちに色々なキノコも姿を見せます。また、散策路の一角が白い液を流したようになっていて、「粘菌か?」と話題になりました。

コナスビの花



ムラサキカタバミの花



オオイヌノフグリの花



赤く熟れたグミの実



キノコ-1:ホコリタケ



キノコ-2:名前不明



粘菌?

